東邦音楽大学附属

東邦第二高等学校

ここには音がある
ここには友がいる
いつもそこには自分がいる

Toho Daini Senior High School
Guide Book 2022

夢実現
TOHO DAINI
音楽大学へ向けた
基礎と実践の学び

東邦第二高等学校から始まる、美しい未来

東邦音楽大学附属東邦第二高等学校は、三室戸学園がいざなう音楽専門教育のスタート地点であり、共通の志を持った、新しい仲間との出会いの場です。生徒も先生も、音楽を愛する気持ちでつながる充実の環境。輝くような笑顔で旋律をつむぎ、磨く、かけがえのない時間。短期大学・大学や大学院、その先の未来も見据えて、生徒一人ひとりが力強く歩んでいくための基礎を確実に築きます。

本校の教育目標
（建学の精神）

音楽芸術研鑽の一貫教育を通じ、情操豊かな人格の形成を目指す。

教育の基本方針

一貫教育の実践

本学園の短期大学・大学・大学院進学を視野に入れた一貫教育体制で、力強い人間力を養う実践的な教育を行っています。

P.4-5

少人数制による教育

少人数制によるOne to Oneのきめ細かい教育を実践。大学や短期大学の教授陣による個人レッスンも充実しています。

P.6-7

グローバル化への対応

外国人講師による英会話と、3年次必修のドイツ語で、ますます進む国際化に通用するコミュニケーション力を磨きます。

P.6

地域社会との交流

年間を通じてボランティアコンサートを行っているほか、募金活動や文化祭などの地域活動にも積極的に参加しています。

P.9

学校法人 三室戸学園
理事長 **三室戸 東光**

本学園の特徴は、中学校から大学、大学院、研究所、オーストリア・ウィーンキャンパスまでの音楽一貫教育にあります。感性豊かな時期に演奏基礎力を身につけ、音楽の幅や奥深さを知識として吸収し、専門性を磨くことと同時に、一貫教育を通じて調和のとれた人格を形成する――それが重要なのです。というのも、音楽を学ぶ意義は「豊かな人間性の育み」であり、習得の過程で培われる理解力・想像力・忍耐力・コミュニケーション力はあらゆる社会生活の糧になるからです。事実、卒業生たちは不断の積み重ねに基づく優れた演奏力と安定感を有し、多様な分野で自分を表現しています。そうした理念に則し、本校はできるだけ音楽に囲まれた環境を提供することに努め、ボランティアコンサートや学内外の演奏会なども積極的に行っています。その中で生徒個々が自立心を養い、学校で得た能力を夢ある未来に生かしてくれることを願っています。

東邦音楽大学附属 東邦第二高等学校
校長 **石橋 裕**

東邦第二高等学校は、東邦音楽大学川越キャンパス内に校舎を構え、生徒は恵まれた音楽環境を大学生と共有しながら、伸び伸びとレッスンや学習に励んでいます。本校の教育目標は、音楽に関する多様な授業をはじめとする全教育課程を通して、豊かな情操を育み、知・徳・体のバランスの取れた人格形成を図ることです。将来何らかの形で音楽に携わっていこうとする生徒にとって、専門性を高めると同時に、多彩な体験や他者との協働により自己実現を果たすことはとても大切です。本校はそのことを念頭に置いてカリキュラムを編成しています。 また、講師陣は「生徒をよく理解し、適切な指導で才能を開花させる」ことを理想に掲げて教育に取り組んでおり、生徒との信頼関係を築いています。温かい風を吹かせながら、音楽を通してそれぞれの可能性を引き出す場所。それが東邦第二高等学校なのです。

Education

三室戸学園の一貫教育システム

三室戸学園では、音楽を通じて豊かな感性を養うことを目的として、中学・高校から短期大学・大学・大学院進学まで含む一貫教育を実践。すべての授業でOne to Oneの少人数制を採用し、生徒一人ひとりの学ぶ意欲や思考力・表現力を育み、個々の可能性を広げる指導を行っています。

音楽方面で活躍するための基盤固め

高校課程は、本学園の大学・短期大学への進学を見据えた技術的・精神的な成長を促す点が特徴です。たとえば、専攻の実技レッスンでは基盤固めをしっかり行い、その先の発展的な学びへスムーズに移行できるよう導きます。また、大学生・短大生と一緒に学ぶ機会も設けることで、積極的に音楽に取り組む姿勢を磨きます。定期演奏会をはじめ学園全体で行うイベントも多く、そこで芽生える生徒同士の絆も本校ならではです。

一般教養と音楽学習の両立

高校以前に身につけた基礎学力の向上を目指し、さらなる知識の定着・充実を目標としています。週6日制のカリキュラムにより、一般授業に加えて音楽の個人レッスンや実技練習も十分に行うことができ、一般教養と専門分野を効率的に学べます。

進路に沿って個・技を伸ばすカリキュラム

一人ひとりの未来の幅広い可能性に対応できるよう、普通教科と学園独自の音楽専門教科をバランス良く習得できるカリキュラムを設定しています。

在校生からのMessage

大室 穂乃佳 さん
声楽専攻 2019年入学

音楽っていいなと心から思える環境です

一番の魅力はアットホームな雰囲気です。先生との距離が近く何でも相談でき、クラスもみんな仲良しで、毎日が楽しく充実しています。レッスンでは大学でも指導されている先生に専門的なアドバイスをいただけるので、着実にレベルアップしていると感じます。以前は譜面を追って歌うだけでしたが、今では楽譜や歌詞に秘められた作者の想いを汲み取り、深く表現できるようになりました。大学生の先輩方の演奏を聴く機会も多く、モチベーションが上がりますし、音楽っていいなと心から思える環境です。

Curriculum（カリキュラム）

※数字は1週間における単位時間（＝授業の回数）を示しています。
2022年度入学生用（予定）

教科		科目		1年	2年	3年
普通教科	国語	現代の国語		2		
		言語文化		2		
		文学国語			3	3
	地理歴史	地理総合		2		
		歴史総合				2
	公民	公共			2	
	数学	数学Ⅰ		2	2	
	理科	科学と人間生活		2		
		生物基礎				2
	保健体育	体育		2	3	2
		保健		1	1	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ		3		
		英語コミュニケーションⅡ			3	3
		論理・表現Ⅰ		1	1	1
		ドイツ語				2
	家庭	家庭基礎			2	
	情報	情報Ⅰ		2		
		小計		19	17	15
専門教科	音楽	音楽理論		2	2	2
		音楽史		1	1	1
		演奏研究				1
		ソルフェージュ		3	3	3
		声楽	独唱（主専攻）*1	2	2	2
			声楽（副専攻）*2	1	1	1
			いろいろな形態のアンサンブル*3	2	2	2
		器楽	独奏（主専攻）*4	2	2	2
			ピアノ（副専攻）*5	1	1	1
			管弦打（副専攻）*6	1	1	1
			いろいろな形態のアンサンブル*7	1	1	1
		作曲 *8		2	2	2
		鑑賞研究			1	
		小計		11〜13	12〜14	12〜14
総合的な探究の時間				1	1	1
特別活動（単位時間数）				(35)	(35)	(35)
合計				31〜33	30〜32	28〜30

*1 声楽専攻者 必履修　*2 ピアノ・管・弦・打・作曲専攻者 必履修　*3 音楽科生徒全員 必履修
*4 ピアノ・管・弦・打専攻者 必履修　*5 声楽・管・弦・打・作曲専攻者 必履修
*6 ピアノ・声楽・作曲専攻者 選択履修　*7 管・弦・打専攻者 必履修　*8 作曲専攻者 必履修

Step（ステップ）

東邦音楽大学附属
東邦中学校
［文京キャンパス］

↓

東邦音楽大学附属
東邦高等学校
音楽科
［文京キャンパス］

東邦音楽大学附属
東邦第二高等学校
音楽科
［川越キャンパス］

↓

東邦音楽大学
音楽学部音楽学科
［川越キャンパス］
- Konzertfach（演奏専攻）
- 教職実践専攻
- ピアノ専攻
- 声楽専攻
- 管弦打楽器専攻
- 音楽創造専攻
- 音楽療法専攻

［文京キャンパス］
- パフォーマンス総合芸術文化専攻

東邦音楽短期大学
音楽科
［文京キャンパス］
- 声楽専攻
- 器楽専攻
  ピアノコース
  ピアノ指導者コース
  管弦打楽器コース
  電子オルガンコース
- シンガーソングライター・アーティスト専攻
- 音楽教養専攻

↓

東邦音楽大学
大学院
音楽研究科（修士課程）
［文京キャンパス］
- 音楽表現専攻

Campus（キャンパス）

川越キャンパス

四季の彩りが感じられる緑豊かな敷地に、ホール「グランツザール」をはじめ本格的な音楽施設が充実。この地で開催される定期演奏会は学園全校あげての大切なイベントで、多くの来場者を楽しませています。

文京キャンパス

東京メトロ「新大塚」駅から徒歩3分という好立地にある文京キャンパスは、東京23区の中央付近に位置しながらも閑静な雰囲気が漂います。文化施設や主要なコンサートホールへのアクセスも良好です。

TOHOウィーンキャンパス

宿泊施設を備えた海外研修施設＝東邦ウィーンアカデミー。大学・短大生はここで、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の団員やウィーン国立音楽大学の教授など、第一線で活躍する音楽家の指導を受けます。

Major

専門性と確かな技術を育む4つの専攻

ピアノ専攻、声楽専攻、管弦打楽器専攻、作曲専攻を開設。
バランスの良い知性・感性とともに、個々の可能性を広げる確かな基礎力と演奏技術を育みます。

▼中島 剛（東邦音楽大学専任講師）

ピアノ専攻

大学・大学院までの長いスパンで成長することを見据え、そのために高校の 3 年間で身につけなければならない技術・知識を徹底的に指導します。演奏の土台となるテクニックは、独自のテキストを用いて確実に向上させます。生徒の特性や学習経験を踏まえたきめ細かなレッスンによって、個々の資質を最大限に引き出します。

▼大槻 孝志（東邦音楽大学特任准教授）

声楽専攻

音楽の中で唯一「言葉」を伴う声楽は、母音と子音の正しい発語を意識することで表現の骨格が定まり、安定した歌唱が可能になります。個々の身体の発達に合わせ、まずは呼吸（呼気）・支え・響きを重視した発声練習を実施。さらに練習曲（コンコーネなど）で声づくりをし、作曲家の作品を通して、音楽史をふまえながら技術を磨きます。

管弦打楽器専攻

基本奏法を習得し、実践的なアンサンブルの中でコミュニケーションの大切さを学びます。また、豊かな表現力を育むために、音楽全般やその他の教科にも興味を促し、幅広い視野を養う指導を行います。

専攻楽器：フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、サクソフォン、ホルン、トランペット、トロンボーン、テューバ、ユーフォニアム、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、打楽器

▼荻久保 和明（東邦音楽大学特任教授）

作曲専攻

和声、コード、対位法、カウンターメロディ、アレンジ、音源制作など、作曲にまつわるさまざまな知識と技術を一人ひとりの資質に応じて指導。また、作曲に最も必要な素養である「意思」を重んじ、伝えたい、書きたいと強く思う気持ちを引き出します。さらに、その意思を「音」として表現するためのあらゆる技法を学びます。

音楽を主とした 実りある学び

普通教科の習得

高度な音楽知識を得るためには、しっかりとした基礎学力が欠かせません。本校では音楽科目とともに普通教科も大切にし、中学校で身につけた基礎学力を一層強化。知性を育みながら音楽力を高める教育を実践しています。

マンツーマン形式のレッスン

東邦音楽大学・短期大学の教授陣による個人レッスンを実施。各生徒の目標や能力に合わせた専門的かつ綿密な指導で、確かな技術を身につけます。また、主専攻の実技指導のほか、希望者には副科管弦打楽器のレッスンも行います。

演奏会

１年を通して発表の機会が多いのも特徴で、定期演奏会、クラスコンサート、東邦第二コンサートなどを実施。また、北関東甲信越音楽系高等学校演奏会にも参加し、音楽を学ぶ生徒同士の交流を図っています。演奏会は技術向上と作品への理解を深める恰好の場であり、ステージマナーも養うことができます。

語学力の強化

外国人講師による英語教育に注力するほか、東邦音楽大学で必修となるウィーン短期留学に向けたドイツ語も 3 年次から学習します。担当のレンツ先生は、リラックスして話せる環境づくり、気軽に質問できる雰囲気づくりによって生徒と信頼関係を築いています。

音楽理論・ソルフェージュ

音楽理論の授業は、東邦音楽大学の講師で作曲家の横山裕美子先生が担当。音楽を奏でるうえで重要な和声や楽曲分析などを楽しみながら学習します。音楽力の基礎となるソルフェージュ（聴音・視唱・視奏）は、グレード別の少人数クラスで学びます。

学内合唱コンクール

東邦中学校、東邦高等学校、東邦第二高等学校が合同で行う合唱コンクールでは、各校がクラス別に合唱団を編成。それぞれのチームワークや演奏力を「東邦音楽大学グランツザール」で披露します。

ウインドオーケストラ

ウインドオーケストラにも力をそそいでいます。演奏家・指揮者として活躍する須永真純先生の授業は全学年合同で行われ、演奏技術はもとより、連帯感・責任感・協調性まで、音楽演奏に不可欠な素養を磨きます。

スポーツ大会

毎年秋に、生徒会を中心として企画・運営されるスポーツ大会は、学年の壁を越えたチーム編成で開催。音楽においても重要な協調性や柔軟性を体感する機会でもあります。

学外のステージでも活躍

学外の演奏会や音楽イベントなどに積極的に参加しています。例年、オペラ彩主催の公演に本校生徒が合唱で出演。プロとの共演や大舞台での演奏経験は、未来への大きな自信につながっています。

教頭 Message

教頭　**関 守**

音楽の学びに欠かせない 実践力を育むために

本校は、音楽の専門教科のみならず普通教科においても実践力を養うことを目指しています。特に英語やドイツ語などの外国語は、従来の暗記型の教育では本当の力は身につきません。そこで我々は教科をひとつのツールと位置づけ、それを通して考える力や自己表現力まで磨くような授業を推進しています。実は、そうした実践的な基礎学力は、音楽理論や演奏研究といった専門教科を理解するうえでも不可欠で、両者のバランス良い学びの相乗効果によって、演奏テクニックや表現力の向上も一層期待できるのです。将来に生きる多くの知識と技術を、ぜひ本校で培ってください。

※教員一覧は本校のウェブサイトをご覧ください。

School Life

スクールライフ

緑の伊吹薫る広々とした敷地、充実の音楽設備、アットホームな校風。
豊かな環境に恵まれた学生生活で、音楽人として、一人の人間としての基礎を築きます。

A

B

C

❶ 東邦音楽学校 三室戸記念館（1号館）
❷ 東邦音楽大学グランツザール（14号館）
❸ 体育館兼演奏講堂
❹ 70周年記念館（16号館）
❺ 東邦音楽大学附属東邦第二高等学校（11号館）
❻ 管弦練習棟（15号館）
❼ 打楽器練習棟（7号館）
❽ 図書館棟（12号館）
❾ 講義室・レッスン室（9号館）
❿ 事務本部棟（13号館）
⓫ ヤマハミニショップ（8号館）

D

E

F

G

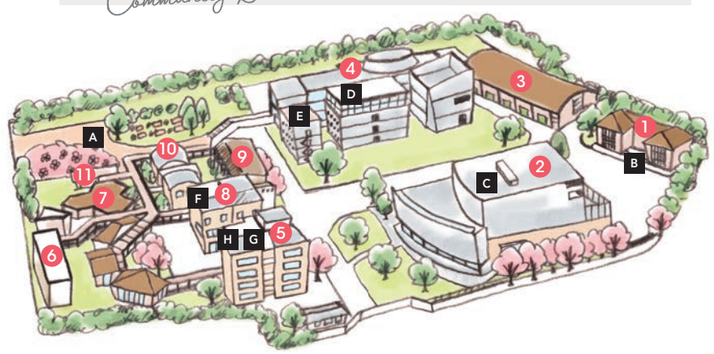
A 東邦音楽大学と同じ敷地内にあり、広々と開放的なキャンパスが魅力的です。B 川越市「都市景観重要建築物」指定の「東邦音楽学校 三室戸記念館」は、戦前からの校舎の一部を移築したもの。小ホールと史料室があり、小ホールは生徒たちの練習の場に。C 東邦音楽大学の本格的音楽ホール「グランツザール」。本校の生徒も定期演奏会などでこの舞台に立つ機会があります。D 晴れた日には富士山を眺望することができる「スカイレストラン（学生食堂）」。栄養バランスのとれた美味しいランチに自然と会話がはずみます。E グランドピアノを設置した「個人練習室」。多くの生徒が始業前や放課後の時間を活用して練習に励んでいます。F 楽譜約 22,000 冊、音楽専門書約 10,000 冊、その他 CD、DVD、一般書籍を所蔵する「図書館」。視聴覚室も備えています。G 生徒たちが多くの時間を過ごす校舎 3 階の「ホームルーム（教室）」には、大きな窓を通じてたくさんの自然光が差し込みます。H アットホームな校風で、校舎は楽器の音と歌声と笑い声にあふれています。

社会貢献活動（ボランティア・地域音楽活動）

本校は、音楽を通じた地域社会との交流を積極的に図っています。地元の小中学生や保護者の方々に向けた演奏会、病院・福祉施設を訪問してのミニコンサートを年間を通して実施しているほか、地域の音楽イベントにも参加しています。そうした活動は高く評価されており、2012 年には世界的奉仕活動団体 国際ソロプチミスト埼玉から「Sクラブ」の認証を受けました。

Community Service

2020 年 1 月 13 日 「ニューイヤーコンサート in 南古谷」に合唱で出演しました。



Events

4月
- 入学式
- 始業式
- オリエンテーション
- 新入生歓迎演奏会
- 健康診断
- 防災避難訓練

5月
- 1 学期中間試験
- 修学旅行（3 年）

6月
- 北関東甲信越音楽系高等学校演奏会
- 東邦第二コンサート
- 合唱コンクール

7月
- 1 学期学科期末試験
- 前期実技試験
- 定期研究発表演奏会（ソロの部）
- 終業式
- 夏休み

8月
- 夏休み
- レッスン補講期間

9月
- 始業式
- 生徒総会
- スポーツ大会

10月
- 2 学期中間試験
- 芸術鑑賞教室
- 東邦ミュージック・フェスティバル

11月
- クラスコンサート（2 年）
- 定期研究発表演奏会（ウインドオーケストラの部）
- 定期研究発表演奏会（合唱の部）

12月
- 2 学期学科期末試験
- 後期実技試験（3 年）
- 定期研究発表演奏会（オーケストラの部）
- オペラ鑑賞教室
- 終業式
- 冬休み

1月
- 冬休み
- 始業式
- ニューイヤーコンサート in 南古谷
- クラスコンサート（1 年）

2月
- 学科学年末試験
- 3 年生を送る会
- 東邦第二コンサート
- 卒業演奏会

3月
- 後期実技試験（1・2 年）
- 卒業式
- 謝恩会
- 修了式
- 春休み
- スプリングコンサート

※例年の予定です。今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、変更になる可能性もあります。

H

Performance

演奏活動

演奏会は、日頃の学びの成果を発表し、生徒自身が成長を実感する大切な機会。
本校には、一人ひとりの生徒が活躍できる発表の場が数多くあります。

ウインドオーケストラで味わう 仲間と音楽をつくり上げる喜び

本校のウインドオーケストラは、式典、生徒会演奏会、定期演奏会、地域イベントなど多くの演奏機会があります。日々の指導は東邦音楽大学講師の須永真純先生を中心に、佐藤陵一先生、板橋享子先生が担当。近年では埼玉県内の中学校吹奏楽部で実技講習会も行い、教える喜びと難しさを体感しています。また、スプリングコンサートでは生徒たちがプログラムや演出を企画し、協力し合って演奏会をつくり上げます。このように仲間と音を奏でる楽しさや達成感を味わいながら、音楽の感性を磨いていきます。

須永 真純
（指揮・木管楽器）

佐藤 陵一
（金管楽器）

板橋 享子
（打楽器）

学外のステージでも活躍！ オペラ作品でプロと共演

近年、生徒にとって大きなチャンスとなっているのが、埼玉県和光市に本拠地を置く特定非営利活動法人 オペラ彩主催の舞台公演です。合唱団員として参加し、プロの方々と共演させていただく貴重な機会となっています。オペラは音楽、美術、演劇、舞踊のすべてを網羅した総合芸術。今後も多くの生徒たちが経験できるよう全面的にサポートしていきます。

2018年公演 歌劇「トスカ」

2019年公演 歌劇「ナブッコ」

卒業生からの Message

音楽教師への夢を抱かせてくれた、素晴らしい場所

埼玉県公立中学校
音楽科教諭
平井 雅子 さん
東邦音楽大学
教職実践専攻
2018年卒業

東邦第二高校は、「音楽教師になる」という夢を抱かせてくれた場所です。生徒のことが大好きな先生ばかりで、少人数学級ならではの手厚い指導は学校生活を充実したものにしてくれましたし、一人ひとりに優しく温かく寄り添ってくださるその姿は、まさに私が目指す教師像です。そして、仲間たちと切磋琢磨できる環境、学びに没頭できる設備は、音楽の道を切り拓こうとするすべての生徒に自信を持って紹介できます。自慢の母校で味わった音楽の素晴らしさを、今度は自分が教師として、未来を担う子どもたちに伝えられることは至上の喜びです。

進路・進学

中学校から大学院までの一貫教育を実践している本学園では、高校生の多くが東邦音楽大学または東邦音楽短期大学へ進学します。進路については一人ひとりの資質と将来性を見極め、細やかなアドバイスを行っています。

［将来の進路］

- **音楽家としてステージに立つ・創作する仕事**
  ピアニスト・器楽演奏家、声楽家・オペラ歌手、作曲家・編曲家、シンガーソングライター、自衛隊音楽隊員、消防音楽隊員など
- **音楽で人を助ける・人の成長をサポートする仕事**
  学校教諭（音楽）、音楽療法士、音楽教室講師、吹奏楽指導員など
- **音楽を通して身につけた知識・技術を生かす仕事**
  声優・俳優、音楽事務所、オーケストラ事務局、レコード会社、福祉系施設、公的機関、一般企業など
- **進学**
  東邦音楽大学大学院、東邦音楽大学アドバンスコース、東邦音楽大学総合芸術研究所、海外留学など

安心・安全への取り組み

「感染症拡大防止ガイドライン」に則り、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しています。

- 生徒の体調管理
- 消毒の徹底と消毒薬の配備
- 飛沫防止シート／パネルの設置
- こまめな換気
- 三密の回避　など

生徒全員が安心して通学し、有意義な学生生活を送れるよう、学校環境の安全対策の強化に取り組んでいます。また、避難訓練も定期的に実施しています。

- **耐震性**
  すべての校舎が耐震構造になっています。
- **非常時対策**
  発電機やAED、緊急通報システム、防災カメラを完備。
- **災害時備蓄**
  防災用非常食と毛布類は生徒人数分を備蓄しています。

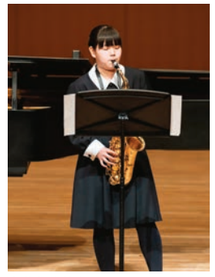
History

1934年	「東京高等音楽学院」（国立音楽大学の前身）院長であった三室戸敬光が、JR大塚駅前に「東京高等音楽学院大塚分教場」を開設。
1938年	三室戸為光が「東京高等音楽学院大塚分教場」を継承。校名を「東邦音楽学校」と改称し、全国唯一の昼夜2部制の音楽学校を立ち上げる。三室戸為光が初代校長に就任。
1947年	東邦中学校（男女共学）開学。
1948年	東邦高等学校開学。普通科および全国初の音楽科を開設。
1951年	東邦音楽短期大学（音楽科）開学。
1963年	埼玉県川越市今泉に川越キャンパスを設置。東邦第二高等学校（普通科・女子）開学。
1965年	川越キャンパスに東邦音楽大学（音楽学部音楽学科）開学。
1969年	東邦第二高等学校普通科を音楽科に移行。
1983年	三室戸東光が理事長に就任。
1997年	東邦中学校・東邦高等学校校舎（8号館）竣工。
2001年	東邦中学校・東邦高等学校・東邦第二高等学校の校名を「東邦音楽大学附属東邦中学校・東邦音楽大学附属東邦高等学校・東邦音楽大学附属東邦第二高等学校」と改称。
2003年	東邦音楽大学附属東邦第二高等学校（男女共学制）実施。
2018年	三室戸学園が創立80周年を迎える。

コンクール受賞・入賞実績多数

参加者同士が競い、高め合うコンクールへの挑戦は大きな成長の機会。本校の生徒は日本演奏家コンクール、大阪国際音楽コンクール、日本クラシック音楽コンクール、全日本ジュニアクラシック音楽コンクールなどに出場し、多数の受賞・入賞実績を築いています。ともに学ぶ仲間にも好影響をおよぼす各種コンクールへの参加を、今後も全面的にサポートしていきます。

中学生・高校生のための
第17回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト
高校生部門（打楽器の部）
金賞・グランプリ・クリスタルミューズ賞
高谷 咲貴子 さん


中学生・高校生のための
第16回日本管弦打楽器ソロ・コンテスト
高校生部門（木管楽器の部）
金賞・埼玉県知事賞
武井 秋芽 さん

制服について

附属3校共通の制服は、演奏会にも着用できるフォーマルなデザインで、色は黒。冬服は男子がブレザー、女子がAラインのワンピーススタイル。セーターとベストは白・グレー・黒の3種類、コートはグレー・黒の2種類から選べます。

TOHO Daini Senior High School

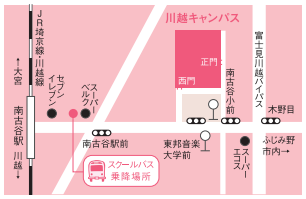
学校法人 三室戸学園
〒112-0012　東京都文京区大塚４丁目46-9　TEL 03-3946-9666

東邦音楽大学附属
東邦第二高等学校

[川越キャンパス]
〒350-0015
埼玉県川越市今泉84　TEL 049-235-2401
https://www.toho-music.ac.jp/highschool2/

川越キャンパス

◆JR埼京線・川越線「南古谷」駅下車、スクールバス約3分または徒歩約10分
◆東武東上線「上福岡」駅下車、東口よりスクールバス約12分または西武バス「上福岡駅入口」より古01「南古谷駅」行き乗車「東邦音楽大学前」下車、徒歩約1分

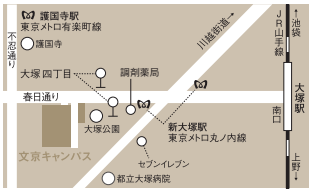


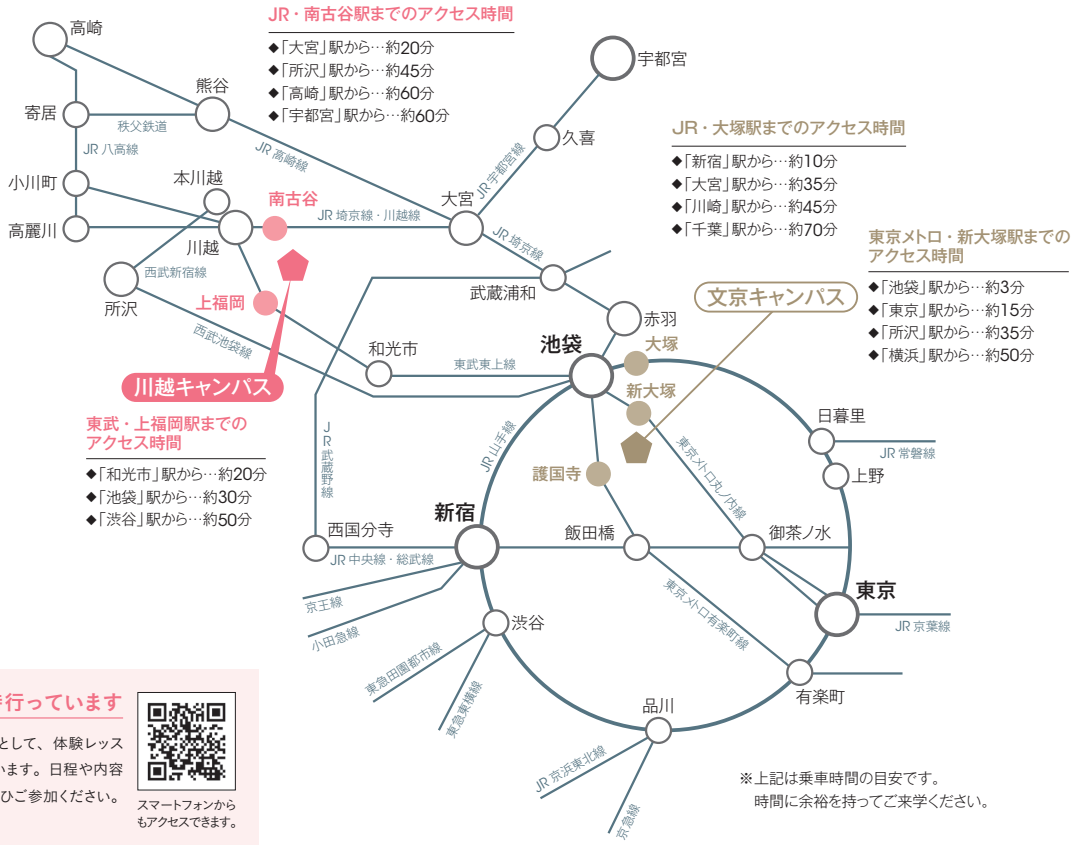
※スクールバス乗降場所および時刻表はウェブサイトをご参照ください。

文京キャンパス

東京都文京区大塚４丁目46-9

◆東京メトロ丸ノ内線「新大塚」駅下車、2番出口より徒歩約3分
◆東京メトロ有楽町線「護国寺」駅下車、1番出口より徒歩約8分
◆JR山手線「大塚」駅下車、徒歩約10分または都バス「大塚駅前」より都02「錦糸町駅前」行き乗車「大塚四丁目」下車、徒歩約1分





※上記は乗車時間の目安です。
時間に余裕を持ってご来学ください。

体験レッスン・学校説明会を随時行っています

本校のことをより詳しく知っていただく機会として、体験レッスンや学校説明会などのイベントを毎月行っています。日程や内容は随時ウェブサイトで告知していますので、ぜひご参加ください。

スマートフォンからもアクセスできます。

© 学校法人 三室戸学園
※本誌掲載物の無断転用・流用等はご遠慮ください。